

琉球大学学術リポジトリ

URGCC基本方針

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学大学教育センター 公開日: 2018-07-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/41646

URGCC 基本方針

平成 23 年 3 月 15 日
全学教育委員会決定

本学は、「学士課程教育の質の保証」の全学的な達成を目的として、学士に相応しい知識や能力を、よりいっそう身に付けさせるための具体的方策を「琉大グローバルシティズン・カリキュラム (URGCC)」として実施する。具体的な方策は以下のとおりである。

1. URGCC 学習教育目標

本学は、上記の目的を達成するため、URGCC 学習教育目標として次の 7 つを定める（別紙参照）。

- 自律性
- 社会性
- 地域・国際性
- コミュニケーション・スキル
- 情報リテラシー
- 問題解決力
- 専門性

2. 学士教育プログラムごとの一貫教育

本学は、上記の目的を達成するため、「学士教育プログラム」を基本の単位として教育課程を充実させ、「4（6）年一貫教育」を実現する。

- (1) 各学部の学科等は、授与する学士の「専攻分野の名称」を踏まえつつ、学生及び教員組織が一体となった教育課程として、「学士教育プログラム」を構成する。
- (2) 学士教育プログラムでは、URGCC 学習教育目標と学士教育プログラムごとの学習教育目標との対応関係を整理する。
- (3) 学士教育プログラムでは、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に整合性・一貫性を持たせるよう、これらを体系的に整備する。
- (4) 学士教育プログラムでは、シラバスの達成目標欄に、該当する学習教育目標（URGCC 学習教育目標または学士教育プログラムの学習教育目標）を明記する。
- (5) 学士教育プログラムでは、必要に応じ、学習教育目標（URGCC 学習教育目標または学士教育プログラムの学習教育目標）に基づき、カリキュラム・マップ等を通じて、より体系的な教育課程となるよう、編成上の工夫を図る。
- (6) 大学教育センターは、共通教育等と URGCC 学習教育目標との対応関係を整理し、カリキュラム・マップ等を通じて、体系的に共通教育等の教育課程を編成する。

3. FD のさらなる推進

全学的に、学習教育目標（URGCC 学習教育目標または学士教育プログラムの学習教育目標）の達成に資する授業方法の開発のための研究及び研修を実施し、教育改善を不断に行う。

- (1) 学士教育プログラムにおいて、その代表者を中心とした、学士教育プログラムの不断の質の向上に資する活動を実施する。
- (2) 大学教育センター及び URGCC 推進支援室は、各学部・学科等と連携しつつ、FD の推進を支援する。

4. その他

平成 24 年度入学学生から URGCC を適用するため、その準備を行う。

以上

別紙 URGCC における学習教育目標

本学は、「自由平等、寛容平和」という建学の精神を継承・発展させて、「真理の探究」、「地域・国際社会への貢献」、「平和・共生の追求」を基本理念としている。

この基本理念の下、本学は養成する人材像として、「普遍的価値を身につけた 21 世紀型市民として、地域社会及び国際社会の発展に寄与できる人材」を掲げ、さらに具体的に以下の 4 つを養成する人材としている。

1. 豊かな教養と自己実現力を有し、総合的な判断力を備えた人材
2. 優れた専門性を持ち、地域社会及び国際社会に貢献する人材
3. 外国語運用能力と国際感覚を有し、国際社会で活躍する人材
4. 地域の歴史と自然に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に貢献する人材

本学は、学士課程教育における人材養成の目的を達成するため、琉大グローバルシティズン・カリキュラム (University of the Ryukyus Global Citizen Curriculum : 学士課程教育の総称) における学習教育目標を以下の通り定める。

○ [自律性] 自分自身が掲げる目標の達成に向けて、自律的に学習し行動することができる。

学問、社会、職業、生活上の望みをかなえるという意欲を持ち、この目標を達成するための方策を立てて実行することができるよう、自律的に学習し行動する力を身につけることが求められる。

たとえば、次のようなことが例としてあげられる。

- 「大学で学ぶ意義を理解することができる」
- 「目標達成のために、自律的に努力することができる」
- 「生涯を通して学び続けようという姿勢を持つことができる」
- 「心身の健康を自律的に維持するように努めることができる」

※本学習教育目標は、様々な授業において達成されることが期待できる。特に、卒業研究や発表形式の授業、あるいはインターンシップやキャリア教育科目で自分の将来を強く意識することにより達成されることが期待できる。

○ [社会性] 市民として社会の規範やルールを理解し、倫理性を身につけ、多様な人々と協調・協働して行動できる。

他者との交流なしには生活の維持、さらにはよく生きることも困難である。集団内の人々が協力して働かなければ、職業上の成功など達成できないことが多く、そのためには自分自身が主体的に活動し意見を述べるとともに、他者の意見に耳を傾け他者を支援することが求められる。

たとえば、次のようなことが例としてあげられる。

- 「社会の規範やルールの意味を理解し、自己の良心に従って行動できる」
- 「他者の意見を傾聴することができる」
- 「他者と協調・協働 (チームワーク) して行動することができる」
- 「リーダーシップを有し、目標の実現のために行動することができる」
- 「社会の一員としての自覚を持つことができる」

※本学習教育目標は、様々な授業において達成されることが期待できる。特に、実験や実習等の学生間の協働が必要となる授業を通じて達成されることが期待できる。

○ [地域・国際性] 地域の歴史と自然に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に貢献することができる。

沖縄の自然・歴史・社会等を理解することを通じて、自由・平等・平和・共生を追及し、地域・国際社会の発展に積極的に関与できることが求められる。

たとえば、次のようなことが例としてあげられる。

- 「自分が生活している地域社会の問題を理解することができる」
- 「沖縄の自然・歴史・社会等と世界の状況を結びつけて理解することができる」
- 「異文化を理解し、寛容な姿勢を持つことができる」

「自然環境を理解し、自然と共生するための知識を身につけることができる」
「地域・国際社会の発展に積極的に関与することができる」

※本学習教育目標は、琉大特色科目や、地域研究や国際研究を扱う授業科目等を通じて達成されることが期待できる。

○ [コミュニケーション・スキル] 言語（日本語と外国語）とシンボルを用いてコミュニケーションを行い、自分の考えや意思を明確に表現することができる。

他者との交流を図るために、言語と図表などのシンボルを使いこなし、自分の考えや意思を明確に表現する基礎的な力が求められる。

たとえば、次のようなことが例としてあげられる。

「高度な日本語力を持ち、活用することができる」
「特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる」
「語彙、論理ともに適切な文章で論文を作成することができる」
「自然や社会的事象について、シンボルを活用して分析・理解し、表現することができる」
「様々な立場を理解し、論理的に意見を交わすことができる」

※本学習教育目標は、外国語や日本語科目などの言語・情報系科目、あるいは討論形式の授業やレポート作成指導を重視する授業科目を通じて達成されることが期待できる。

○ [情報リテラシー] 幅広い分野の情報や知識を多様なチャンネルから収集し、適切に理解した上で取捨選択し、活用することができる。

自分の専門分野は元より幅広い分野の情報や知識を、様々な情報源から収集する力が求められる。さらに、収集した情報や知識の適切性を判断して理解し、取捨選択した上で活用することが求められる。

たとえば、次のようなことが例としてあげられる。

「情報通信技術を活用することができる」
「それぞれの分野において、信頼できる情報源を判断することができる」
「多様な情報を収集・分析して適正に判断することができる」
「収集した情報をモラルに則って活用することができる」

※本学習教育目標は、人文・社会・自然・情報系科目を幅広く履修することを通じて達成されることが期待できる。

○ [問題解決力] 批判的・論理的に思考するとともに、これまでに獲得した知識や経験等を総合して問題を解決することができる。

他者に通じるような論理や、複数の異なる視座からの思考によって、これまでに獲得した知識や経験等を活用し、総合的に判断することが求められる。

たとえば、次のようなことが例としてあげられる。

「様々な視座から物事を批判的に考察することができる」
「問題を見だし、創造的に解決策を考えることができる」
「情報や知識を論理的に分析することができる」
「獲得した知識や経験等を活用し、課題について総合的に判断することができる」
「幅広い学問分野について関心を持ち、その分野から得られる知見を活用することができる」

※本学習教育目標は、様々な授業において達成されることが期待できる。特に、少人数のゼミ形式の授業科目や卒業研究を通じて達成されることが期待できる。

○ [専門性] 専攻する学問分野における思考法、スキル、知識等を体系的に身につけ、活用することができる。